明治廿六年六月一日印刷
明治廿六年六月二日發行

婦人衛生雜誌

第四拾參號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第四拾參號
目次

講演

◉食物消化の際に受くる滋養品の變化　醫學博士　隈川宗雄君

◉病門の衛生　醫學博士　佐々木政吉君

◉妊婦及産婦の注意　千葉縣産婆學校長　高梨美津子

寄書

◉産婦の注意　醫學士　賀古鶴所君

衛生叢談

◉浴場行日誌（前號の續）　醫學博士　佐々木政吉君

◉大日本婦人衛生會例會◉千葉支會◉大日本衛生會役員撰擧◉福岡縣の婦人會◉狂犬病患者の摸樣◉吾人は日に「バクテリア」を飲むなり◉壽命と生活の關係◉小供の接吻◉耳病者はおてんばに多し◉洋酒飲む人は注意せよ◉日本赤十字社看護婦生徒◉空氣中の「バクテリャ」調査◉八十歳以上の日本人◉萬國醫學會の出席者◉總身に三千七十五個の瘤◉京都の虎症◉狂犬病馬に傳染す◉流行病一束數件

◉廣告

大日本婦人衛生雜誌
第四拾貳號
目次

講演

◉種痘　醫學士　三島通良君

寄書

◉各國に於ける授乳時の長短　ドクトル　佐伯理一郎君

衛生叢談

◉浴場行日誌（前号の續）　醫學博士　佐々木政吉君

◉府下十五區六郡の肺病患者

◉小兒の頭髪を剃るの弊

◉長崎の狂犬病

◉コッホ氏の來朝

◉ラムネの取締方

◉富豪の攝生法

◉虎列剌病の流行病及マラッカに於ける虎列剌發生詳報

◉火傷の妙藥

◉僂麻窒斯患者癲狂に變す

◉火葬料改正の協議

◉摘草の注意

◉流行病一束

◉大日本婦人衛生會の懇親會景況

◉同役員改撰の件

◉廣告

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第四拾參號
（明治二十六年六月二日發行）

講演

食物消化の際に受くる滋養品の變化

（明治廿五年十一月六日芝離宮にて）

醫學博士 隈川宗雄君

此の前々會に於て丹波敬三君が食物の經濟法と題して、實際に渡りたる頗る有益の御演説をなされました、私は今日丹波君の御話に引き續きまして少しく生理學に渡りまするが、食物中の滋養品は如何なる姿となりて体内に吸收さるゝかと云ふ即ち消化の際に起る滋養品の變化に就て御話しを致し、次に其概略を試驗致して御覧に入れやうと思ひます。

併しながら本題に移りまする前に、滋養品と申すものは如何なるものであるかと云ふことゝ、滋養品が体内に吸收されたる後、如何なる變化を受け生理上如何なる作用を生ずるものであるかを簡略に述へ置かふと思ひます。

滋養品にも樣々の種類が有りますが、其最も必要なるものは蛋白質、脂肪、含水炭素質の三ツのものであります。蛋白質と申すものは總べて動物性食物中に含まれてある、重なる滋養品であつて、牛肉、魚肉、鳥肉、卵、或は牛乳などの重なる成分が蛋白質で御座います。尤も此蛋白質は植物性の食物にも有りますが、動物性の物に比すれば其分量が至ッて少なう御座います、次に脂肪は皆様御承知のアブラであります、アブラにも硬いのもあり軟かいのもあり或は溶解て居るのもあります、又アブラも分量より言へば蛋白質の如く動物性の食物に多く這入ッて居ります。日本では植物性の脂肪を油揚とか天麩羅な

どに致して多く食しますが、大体に就て云へば我れ〳〵ども矢張り日常植物性の物よりも動物性の食物より脂肪を多く取りて居ります。次に含水炭素質は澱粉類と申しまして植物性食物の主成分で御座りまして、即ち米麥粟稗等凡ての五穀或はお芋などの主成分が澱粉質であります。

以上の三滋養品は化學上より申せば込入たる有機抱合物でありまして、炭素を含んで居りまする故に躰内に吸收されますると、呼吸の作用によつて空氣中より血液中に入込みまする酸素と抱合致し即ち燃焼されまして段々と崩れて仕舞ひます。而して遂には込入りたる抱合物が水或は炭酸瓦斯の如き單簡なるものに變化いたします滋養品が躰内に於て次第に燃焼分解されまする爲に發生致しまするものは生活を保ちまするに最も必用なる躰温と運動とであります、總て人間其他の動物の生活は働きと温とを要しまするもので温と運動とが無ければ其生活は消へて仕舞ます、而して温と運動とを拵へるものは只今申したる如く食物より吸收さるゝ滋養品であります。既に先日丹波君も述べられたる如く單に運動と申しましても身躰を動かすとか、或は物を動かすと云ふやうに、唯眼に見へるのみの働きが運動では無いのであります。夜分など能く眠ッて居りまする間にも心臟は絶へず働き、呼吸も持續して營なんで居り、血液も絶へず循環して居るなど丶云ふのも皆つまり運動の一部で御座ります、併しながら滋養品は悉く皆燃焼分解して温及運動に變ずると云ふ次第では御座りませぬ、其一部分は分解せずして体内に殘ります、即ち体内に殘りたる滋養品は身躰の組織成分に變化するので御座ります、假令は小兒の發育時期或は病后の恢復期には比較的多量の滋養品が直ちに身躰の成分に變化致しまする故に速かに發生恢復

するので御座います。右に述べたる有機滋養品の外に無機滋養品と申すものがありまするが、これは炭素を含まない故に躰內に於て燃燒して温及運動を發生することの出來ない極單簡なる抱合物で御座ります、假令ば水、食塩、其他凡ての灰分は無機滋養品でありまして、温及力を生ずることは出來ませんが、身躰の組織成分を造營致しまするには欠く可らざるもので御座ります、我々の身躰を分折して見ますると百分の六十分以上は水であります、故に躰の成分としては水も必要なる滋養品と申さなければならぬであります、然しながら無機滋養品は消化の際に別段變化致しませんから、本日の御話には關係が少なう御座りまする故に無機滋養品の御話は先づこの位に致しまして是より本題に移ります。

扨有機滋養品は如何なる形になりて消化吸收さるゝかと云ふと、第一蛋白質なるものは水に溶け難いものであります凡て溶解されない物は吸收されにくいものであるから、斯の如き物は消化液の作用に依て容易に溶け得べきものに變化されなければなりませぬ、即ち蛋白質は胃液及腸內に分泌する所の膵液に依て「ペプトン」と云ふ物に變化致しまして後に始めて吸收されます、次に澱粉類も亦溶解し難き物であるから、唾液及び前の膵液の爲めに容易に溶解する所の砂糖の種類に變化致して后吸收されます。其次は脂肪でありますが、脂肪の固まつて居るものは體温の爲めに溶けまして而して其一小部分が矢張り膵液の爲めに分解されまして俗に云ふ石鹼が小量に出來ます、其石鹼の爲めに殘れる脂肪の大部は乳化と云ふ、細かなる分子に崩れまして后に始めて吸收されまする。

是れ丈が消化の際に受けまする變化でありますが、

我々は食物を食するに第一食物を口内に於て能く咬みます、咬む際に唾液が出て參りまして食物に混ずるが故に食物が滑かになりて容易に飲込むことが出來るやうになります。コレが唾液の作用であります、けれどもソレばかりではなく唾液中には「プチアリン」と申して前に御話したる如く、澱粉を糖化する有功成分がありて消化の作用を助けます、御覽の通り茲に持參致しましたのは白米を粉にしたものであります是れに唾液を入れますれば其澱粉質が砂糖に變化致します、是れより一々試驗をして御覽に入れませう(以下實例試驗)

先づ澱粉を斯の如く試驗管に入れて之に少しく水を加へまして温めますると糊或は「オモ湯」のやうなものが出來ます、其一部分を他の管に移して斯く唾液を入れて暫く致しまするど、此中にある澱粉は悉く砂糖に變化致します、併しソレには一定の温度に據らないと往けませぬ故に此管を暫らく「ヌルマ湯」の中に入れ置きます。

さて砂糖にも色々種類が御座りまするが、砂糖も澱粉とはドノ位の相違があるかと云ふ事を豫め御目に懸け置きませう、この粉は葡萄糖と云ふ一種の砂糖でありまするが、之を試驗管に入れて水を加へますると斯の如く容易く水に溶けまする、之に那度倫液と硫酸銅液とを入れますると青色の液が出來まする、之を暖めまするど黄色或は赤色の沈澱が起ります、是れが砂糖の試驗法でありまして見て居る間に斯くの如く赤く相成ります。デあるから此の粉は砂糖であると云ふ事が確かであります。

ソレから同じ試驗を最初の米の粉を溶いたものに致しますれば赤くなりませずしてこの通りに黒くなりまする、是れが澱粉と砂糖との違ひまする點であります。モウ一ッの區別は澱粉液に沃度液を加へます

と斯の如く青くありますが砂糖の方は青くなりませぬ、是が澱粉と砂糖とを鑑別する第二の試驗法で御座います。

扨是れより同一の試驗を先刻唾液を入れ置きました「オモ」湯に致して見ませう、若しこの中にある澱粉類が砂糖に變化して居りますれば同じ試驗によつて赤き沈澱が起るであります、即ち前の如く那度偷液と硫酸銅液とを入れて斯く溫めますると御覽の通り段々に赤き沈澱が出來て參りました、又この液の一部に沃度液を加へましても青色は起りませぬ、是れが即米粉中にある澱粉質が唾液の作用によりて糖分に變化したる証據で御座ります。

次に蛋白質の變化でありますが、蛋白質は胃液の爲めに「ペプトン」と云ふものに變化致します・是も同じく試驗を致してお目に懸けます、御覽の通り是れは卵の白味に水を入れて煎じましたるもので細かなる白き沈澱になつて居ります、之に胃液を加へて少しく溫め置きますると「ペプトン」と云ふ物が出來ます、胃液を取るには動物に十分食物を與へて凡そ一時間も過ぎたる后ゴム管を口內より胃の腑に送入して外より胃の部分を壓迫すれば胃液が出て參ります、其中には「ペプシン」と云ふ有功成分と塩酸とが這入ッて居ります、爰に御覽に入れまする液は「ペプシン」を溥き塩酸水に解きましたる人工胃液であります、之れに蛋白質を入れて一定の溫度に暖め置きますると「ペプシン」と塩酸の作用によりて蛋白質が溶解して「ペプトン」に變化致します、この試驗を致しまする爲めに蛋白質の沈澱を個様に二ツの試驗管に入れまして一方には人工胃液を加へ、一方には單に水を入れて二ツながら「ヌルマ湯」の中に暫く入れ置きます、消化の働きが起りて蛋白質が溶けまする迄には多少時間が掛りまするから、其間に胃

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

液中の塩酸に就て少しく御話を致しませう、胃液の作用は啻に食物を消化するばかりでは御座りませぬ、食物中に混じて居る「バクテリエン」等を殺すと云ふ必用なる作用がまだあります、この作用は全く胃液中の鹽酸の爲めに起るのであります、塩酸がこの胃液中に含んで居ると云ふ事も一寸序に目に懸けませう。

此器の水に「コンゴ」赤と云ふ色素を入れまするど斯の如く赤い色が出ます、之に前の人工胃液を少しく加へまするど御覽の通りに赤き色が忽ち青くなります、是れが此液中に塩酸を含んで居る証據であります、胃液は塩酸の爲めに「バクテリエン」を撲滅する作用を有して居ると云ふ事は實際上誠に必要の事でありまして、諸般の傳染病は重もに「バクテリエン」が原因となりて起るものであります、皆樣御承知の「コレラ」病なども「コレラバクテリエン」と云ふものが食物と共に胃の腑を經て腸に這入りて爲めに起る病であります、故に胃の働きが惡しくなつて塩酸の分泌が止まりますと忽ち「バクテリヤ」が食物と共に腸内に這入ッて發育致します、之に反して胃が健康であつて塩酸の分泌も十分でありまする時は、假令過ッて多少の毒を給べましても其毒は塩酸の爲めに殺されて、仕舞いまするから腸内に這入ッて發育することが出來ないであります、ソレ故に「コレラ」病など流行の際には醫者が殊更らに腸胃の働きに注意して食物などを餘り過度に食してはならぬと申すのは塩酸の分泌が十分でない時は胃液が黴菌を撲滅する力を失ふ故であります、加之食物の中毒と云ふて吐瀉を起す病の中にも往々惡しき黴菌が原因となりて居る事があります、凡て此等の病には塩酸の分泌が不十分であると考へられます。

是れより蛋白質の消化試驗に戻りませう、先刻人工

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

胃液を加へたる方は蛋白質が斯樣に溶けて仕舞ました、この溶液中には必らず「ペプトン」と云ふ物が出來て居ります「ペプトン」を試驗するには那度倫溶液を多量に入れて次に稀薄なる硫酸銅液を加へますると赤紫色を呈します、御覽の通り斯の如く明かに變色致しました、然るに一方の水のみを入れました試驗管に在つては蛋白質の沈澱が更らに溶解して居りませぬ、又之れに前同樣の試驗液を加へましても赤紫色の反應は起らず、斯の如く淡青の沈澱が出來ましたこの試驗に依りて蛋白質が胃液の爲めに溶解されて「ペプトン」に變化致しましたる事が能く御分りであるだろうと存じます

其次は脂肪でありますが、脂肪は腸内に於て膵液の爲めに恰も乳汁の脂肪球の如く極めて微細なる分子に崩れて吸收されます、爰に膵液は持參致しません故に石鹼水と「オレーフ油」を以て變化の有樣を御目に懸けませう、この二個の試驗管に殆んど同量の油を取りまして一方には石鹼水を入れて又一方には水を加へます、然して同樣に之を振動致しますると一方は脂肪が悉く小さき玉に崩れて乳汁の如く白くなりましたが、一方は脂丈が忽ち上に浮き上ります、脂肪は斯の如く小さき玉に崩れて吸收されます。是丈が腸内に於て消化の際に受けまする滋養品の變化であります、總て就れの食物中にある滋養品も右の如き變化を受けたる後に始めて体内に吸收されます。

是より食物消化の良否に就て御話しを致しまする積りで御座りましたが、餘り長くなりまして却て御迷惑であるだろうと存じまするから今日は是れで御免を蒙ります。(完)

病門の衛生

（三月十一日婦人衛生總會麹町富士見倶樂部ニ於テ）

醫博學士 佐々木政吉君 演

私の演題は病門の衛生と申すので御座います。一体病門と申すは私の作りました語で、少しく御解かりにくいでありませうが、病の入る門と云ふので御座います、病の入る門とは何であるかと云ふに、御承知の通り、口や鼻は病の入り易き處、故に之を病の入る門と云ふ、其門の衛生の事に就て御話を致します。

他の事に例を引いて申せば、今一國を安全に保たうと云ふには、其國の港或は國境を嚴重に注意しまして、港には軍艦を備へ、國境には砲臺を築きて、番兵を置き、而して嚴重に守らなければならぬ、又一家にして盜賊の入るを防ぎますには、戸締りを能くして注意しなければならぬ、ソレと同じ樣に、大切なる人間の生命を安全に保ちまするには、第一に病の入る門を能く注意して、病の入らぬやうに防がなければならぬ。總て病に罹らぬやうに工夫するのが、最も賢き考へであります。病に罹ッてから色々心配するよりは病に罹らぬやうに考へるのが、人間の利口なのであります。病の門は幾ッもありますが、其中で最も病の多く入る門は口と鼻であります。

ソレ故に先づ鼻の方から御話を致します。私の演説は極めて平々凡々の事でありますが、併し人間と云ふものは、兎角解かりきつた事が行はれないのが抑も弊で御座います。

ソレで鼻は臭ひを嗅ぎ、又我々が生命を繫ぐに缺くべからざる所の空氣を呼吸する門であります。我々が一分間に十五六度位ゐ空氣を呼吸する、若し一刻でも空氣がからだに這入りませぬやうになりますると、忽ち死する譯であります。口と鼻とを塞いで仕

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

舞いますと、即時に死する者で御座います。ソレ程大切の空氣でありますが、食物などとは違ひ、眼に見へないのと、人は無代價で此空氣を呼吸して居る故、食物の方には注意が届いても空氣の方には人々の注意が足らない。斯くの如く大切の空氣ゆへ、良い空氣を擇まなければならぬ。空氣にも清潔の空氣と不清潔の空氣があります。清潔の空氣を呼吸しますると、大に健康を補く、不清潔の空氣は健康を害します。塵芥の多き處の空氣は不清潔で御座います。ソレからバクテリヤを含みたる空氣などは最も惡るいのであります。傳染病と申すのは窒扶斯其外實扶垤里亞肺病等であります。熱病の毒と云ふ者は大便の中に含んで居ります。ソレ故熱病の患者のありまする時には、患者の大便は嚴重に取扱ッて消毒藥を入れ、充分に毒を撲滅しなければならぬ。實扶垤里亞は其患者の痰の中に毒を含んで居るのでありますから、其痰は丁寧に取扱はなければならぬ。肺病などは痰の中に毒がある故に、能く人のする事でありますが、紙で痰を拭き取ッて、ソレなり傍に置くやうなことをしてはならぬ。痰を消毒するには痰の中に消毒藥を入れて、十分消毒しなければなりませぬ。殊に肺病の痰が乾いて塵芥と共に空氣中に飛散すると、ソレから人に傳染するやうになりまするから、痰は乾かぬやうにしなければならぬ。又空氣と云ふものは、多人數が狹い部屋に居りますると、空氣が不潔になつて參ります。ソレ故監獄では人々が一ッ部屋に居りまするから、空氣が不潔になつて肺病患者が多く出來る。空氣の良い處と云ふは、樹木の多くある公園或は山中海濱海上などであります。ソレでありますから人々が健康を計らうと思ふには、斯くの如き新鮮の空氣の所に度々參ッて、良い空氣を呼吸するが宜しい。肺病などを防ぎまする

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

には清潔の空氣を呼吸するのが最も大切であつて、且つ最も有効の事であります。ソレで御子供衆などは殊更に注意して、度々清潔の所に御連れになつて充分に良い空氣を吸收させるやうに遊ばさなければなりませぬ。子供は發育をする時でありますから、尚は一層衛生上の事には注意しなければならぬ。

肺病は西洋の婦人と日本の婦人と、比ぶるに其位地によりて差違があります。日本では下等の婦人よりは上等社會の御婦人に肺病が多い。之に反して西洋では、上等社會の婦人に少く、下等社會に多いソレはドウ云ふ譯であるかと云ふに、日本の御婦人方は、一ハ清潔なる空氣中に運動する事が少ないのが原因して居ります。實に清潔の空氣中に散歩すると、忽ちに其の効能が見へます。戸外に出ますると氣分が快くなり、ソレから肺臟中の古い空氣を新しき空氣に換え、不潔になつた空氣を清潔なる空氣と取換ねます。又た食事は進み顏の色は好くなります。是等は日常見る所で少しも疑ひのないことであります。是れ程解かりきつた容易い事で、然も大なる利益のある事でありますが、能いと知りつヽ人が行はないには最も困ります。且つ是等の御話しは、皆様も耳に蛸のよる程、御聽にきなつてたでありませうか。さて之を爲さるか爲さらぬかの点に就いては、少しく疑はしい。ソレ故私は誠に詰らぬ御話を致すやうではありますが、良き事は何時述べましても良いに違ひなく、金は何時迄經つても金であります。近頃は人が海濱に行き、山中に往くなどヽ云ふ事が、稍々盛になつて參りまして。甚だ宜しい事であります。御子供衆などは、休暇中は海濱或は山中の空氣の宜しき處に御連れになつて、御遊ばせなさるが宜しくあります。

次に口の御話を致しますが、口と申すものは矢張り

鼻と同じとくに、人が生命を繋ぐ飲食を取る所の門で又口は味を掌る所のものであります。飲食物の旨いまづいを味ふ所であります。口はなか〳〵忙しき所の部分でありまして、少なくも一日に三度づゝは必ず口を勞させるのであります。又其間にも種々茶だの菓子などを取りますると。度々口を煩します又右の通りに煩はし使ふ所である故に、從て病氣も多く這入ります。又飲物に就て言ひますれば、水の不清潔なるものを飲みますると熱病を起します。又生の牛肉を食しまするど絛虫が出來る。又豚の肉などには虫か居りまして、ソレを食するときはトリヒナ虫病を起し、ソレがからだ中の筋肉に宿る、其外牛などにも人間の肺病に似た病氣があります。其の中から搾取りました牛乳を生で飲みますると、ソレからして肺病を起すことがありますから、牛乳は能く煮て飲まなければならぬ。凡て五分間程グラ〳〵と沸騰まするど、如何なる毒でも殺されて仕舞ひます總て食物は煮たものを取ると云ふことは、衛生上甚だ大事のことであります。不潔の物を取りましたために起る病氣は澤山有ります。水の不潔なる或は生の野菜を餘り澤山に取りまするど病氣を起します。斯樣な不潔の水或は生の野菜を取りました爲に起る病氣の中で恐るべき病氣があります。ソレだけを是れから申述べますであります。

其の恐るべき病氣と云ふは貧血病でありまして、顔が蒼くなつて醫師の方では之を十二支腸の虫貧血と云ひます。十二支腸とは腸の一部で、ソコに虫が宿りまして貧血を起して來ます。さう云ふやうな病氣は田舍の方に往きますと多くあります。田舍では此の病氣を「アヲ」と申します、「アヲ」とは顔が蒼くなる故に「アヲ」と云ふのであります。此病氣に罹ると段々顔色が蒼くなつて腫れ働かうと思ッても息が切

れ動悸がし眩暈がして、耕作しやうと思つても働くことが出來なくなります。併し百姓ばかりではありませぬ、他の人も此病に罹ることが往々あります。田舍では斯樣な病氣は最早癒すことは出來ないものと極めて、死病の中に入れて置きました。實に此病氣に罹ると藥が利かなく必ず死ぬものと定めて棄て〻置いた位で御座いますが、近頃になつて醫學が進歩したので、病氣の原因が分ッて來ました。其病氣の原因は腸の中に一ツの虫が居りまして、其虫が腸に喰込み、恰も蛭が血を吸ふ如くに、腸に居てからだの血液を吸ひます。ソレが段々殖へて數多くの虫のために血を吸はれますので、段々にソレが爲に貧血を起して來る。此頃では此病氣を鑑定するに大便を檢査して其虫の卵を見附けて病氣の鑑定をします。幸に虫を驅りまするに有効なる藥がありますから、其虫を驅りさへすれば再び顏の色も赤くなつて、息も切れず、健康のからだに復することが出來ます。

不潔の水生の野菜等を食しまするると、斯樣に恐ろしき病氣を起します。

私の演説の要を摘んで申せば、先づ清潔の空氣中で運動する事、飲食物は必ず火の通ッた物を取るのが衛生上最も忽にすべからざる事とを述べたのであります。諺に言ふてありまするが、精神の快樂清潔の空氣中の運動、飲食の注意をする事、此三ツは實に三大醫王であると云ふことを、昔から言ふて居りますが、實に此の言葉は金言であると信じます。何卒之を貴婦人方が實行なされますやう致し、子々孫々迄も御健康になることを計られたい。ドウか御實行のあることを冀ひます。

妊婦及び産婦の注意

大日本婦人衛生會千葉支會に於ける演説

千葉産婆學校々長　高梨美津子

暫く集會を怠りし婦人衛生會も今日を以て又爰に此總會を開きしに　幸に會員諸愛姉方の御來會多く私は千葉支會幹事として誠に之を諸愛姉に謝し一己の會員としては欣喜の至りに堪へません扨本日は賛成員ある諸先生方の御演説あることあれば私は今僅時の間を以て妊婦及産婦の注意すへき事件に付聊か實地經驗致したる事柄三四ヶ條を擧げて御噺し致すつもりで御座り升

第一　妊婦の注意すへき事柄に付ては

先づ妊娠中は余り高き處へ手を延し物を取る樣なることや二階の梯子段などを強く登り降りすることに注意すへきとです田舍なれば山坂を強く奔走ることや馬車人力車などに乘ることはあまり好しからぬことです總て下腹部に強き震動を與ふることは甚だ惡しう御座り升其譯は妊娠初期なれば受胎卵が子宮の内壁より離るゝことありて流產を致します妊娠后期と雖も外部の刺劇にて流產早產等を致します

又余り悲み過ぎたり怒り過ぎたりして終に半產することがありました故に夫婦喧嘩などは極禁物であります

妊娠して六七ヶ月の頃に至りますと胎兒が非常に動き安き時です故に遲くとも此時には是非其道の人に見せるが肝要です然るときは假令手や足から先に生るべき者も居方を直し正しき向にいたし安產する樣になります產癖のある人などは格別早くから注意すべきことです私は數年間此事に付て經驗致しました是迄幾度產を致しても何時でも手足から出て困ると云人々には大抵六七ヶ月目の頃よ

り注意して惡しき位置を直し正しき向に致し置ます然る時は出産のときは正しき位置にて生れまして安産を致しました是れは多年の間數十人に付ての實地の經驗でありまして余程大切なる事て御座り升私が是迄取扱ひし産婦の數は大略明治十年より明治廿六年四月まて四千余人で其內三分の二以上は夜分の出産です俗に大汐の時分に生るゝ方が多い即舊曆の朔日或は十五日の頃が多くあります又奇形兒を妊にし人の腹部を診察するに通常の妊婦の腹より堅う御座り升て羊水が大抵多くあります

次に產婦に付て注意の事は

是迄は大抵産者は腰を抱てしやがんて產を致したるものですが之れは横に安臥する方が余程よろしく御座り升

第一　產者に骨が折れないで樂です

第二　會陰（肛門　陰門の間）の裂る樣なことがありても裂け方が少ない、しやかんで生む時は力の當りが強いから會陰が裂け易う御座いまして又多く裂けます

第三　若し臍帶が頸に纏ふて出て來た時に、しやがんで居ては其臍帶を取はづすに困ります臥し居る時は容易にはづすことが出來ます

右の外種々妊娠婦に付てお噺申度事あれとも本日は諸先生方の御演說があると多く理論に渉るヶ條あれば後日に致し只私が實地經驗の上の個條を取つまんで述へましたる所で御座り升云々

右は其演說の要旨を記載したるものなり讀者之を諒せられよ

寄書

●産婦備用

右は醫學士賀古鶴所君の特に本會へ寄送せられたるものなれば以下號を逐ふて本紙に掲載すべし

第一章　妊婦の心得

妊娠の徴候　妊娠の確かある徴候は母体に手を觸れて胎兒の動くを知り又耳を接して胎兒の心音を聽くの二つあるのみ其他の徴候は人々同じからざれば確ありと云ふべからす即ち嘔氣を催し或は嘔吐し食物の嗜好を變じ顔色性質とも常とかわり月經閉止り乳房肥大する等にして此等の徴候は經驗上豫め其妊娠あることを知り得べしと雖も初て妊娠せし者に在ては多くは其何たるを知る能はざるものとす

分娩期日の豫算法　此法は最後に月經のありし日より數へて豫め分娩の期日を知る法あれとも稀には受胎後に尚二三回も月經の通ずることありて爲に分娩の期日を數へ誤ることあり然れどもこれは實に稀有なることあり

又年若き婦人にあつては初て胎動を覺ゆるは通常妊娠後百四十日あるを以て此日より又百四十日を經ば分娩すと知るべし又年長けたる婦人に在ては妊娠後百卅三日にして初て胎動を覺へ此日より百五十四日を經て分娩すと知るべし又分娩前四週間に於て胎兒は下腹部へ降り鳩尾の周邊稍々細りたる如く覺ゆる者なれは宜しく注意すへし

妊婦の疾患　兼て長病を帶るか若くは病を生せは必す娩期前に治療を加ふへし何となれは胸病、心臓病、腎臓病、の如きはすへて妊婦に害を與ふるのみならす又胎兒の發育を防ぐること少なからされはあり通常妊婦の覺ゆる苦脳は左の如し逆上、眩暈、頭熱手足の焦熱、睡眠不安、四肢の倦怠、不快の忘想、悪心、唾液の分泌の亢進、雜嘈、嘔吐、發汗、痔疾の腫脹、下脚部に於ける靜脉の怒脹、白帶下等なり此諸症

、若し増進せは速に醫師を迎へて治療を受くへし若し又頑固の齒痛を起さは齒科醫につき其神經を挫滅するか或は齲齒を拔き去るへし足部の浮腫は巧みに繃帶を施さば容易く之を防ぎ得へし若し咳嗽を偶發せす浮腫を増進す宜しく速に鎭制すへし吸角、刺絡は決して妊婦に施すへからす

生活の業　妊婦の平常慣熟たる業にして且つ之を爲すを好み愉快を覺ゆる事は持續するも妨けなしと雖も既に妊娠の確るな徴を現さは成へく業をとるへからす强て業を執らんと欲せば宜く千萬注意すべし然らされは胎兒の發育を妨け若くは流產を誘起する恐れあり又俄に食物、衣服等を變更し殊に分娩期に迫りて感冒に罹り或は過度の勉强をなすは甚た害あり

運動　妊婦は日々開豁閑靜の地に出て丶散歩するを良しとす但し疾病ありて之れに堪へざるときは固よりなすべからす又乘車は平坦の道路にして身體の震動を覺へざる限りは可なりと雖も其激動を覺ゆるは大に害あり遠路の旅行は概して良しからす殊に初四ケ月間は最も害あり舞蹈、奔走、跳躍等及險しき坂急なる階段を升降するも亦良しからす又身體を展伸するは不可あり例之は洗濯衣を竿に掛け手を棚の上に致し滑車井の綱を牽く等は共に禁すへし舞蹈劇場を始め總て衆人の集まれる席に長坐す可らす

妊婦の食物　滋養に富み消化し易きものを撰むへし然れども多食すへからず餅類、豆類、剛靭なる蔬菜及漬物、海草、鰻、鯰、油揚類は消化惡しく且つ風氣を釀す者なるを以てあるへく食す可らす酒、葡萄酒、ビール、ベルモット、强き珈琲及ひ茶等すへて平生用ひ慣れるざ者は決して用ゆ可らす妊婦の好める食物と雖も多食せしむへからす妊婦は殊に不消化物を好む者なり牛乳は用ゆへし滋養の他又便通を利する効あり

妊婦の衣服　常に脚部の冷却ざる樣注意し冬時には寛豁なる股引を穿ち寒氣を防ぐへし洋裝する者は妊娠三ヶ月に至れば「コルセット」を廢すべし又下着の紐靴の紐と雖も緊縛す可らず就中腹部を緊しく縛るは殊に害あり腹部の下垂する者に在ては「フラチル」等を以て適宜の腹帶を製して用ゆへし但し決して緊縛す可らず

過劇なる精神の感動　分娩期に近接せば憤怒、憂苦、恐懼、及ひ過度の歡喜を發す可らず故に勉めて之れを誘發する機會を避くへし鬱屈する者は務めて意思を他に轉せしめ其感情を消散せしむへし又妊婦に接する者は注意して分娩に關する畏懼の念を散せしむるとを勉むへし決して難産の景况等を説話し徒らに疑懼心を增さしむ可らす古諺に曰思ふより産むは安しと實に然り處置さへ其宜しきを得は分娩は決して懼るへき者にあらさるなり又妊婦は異狀のものを見るを忌むと云と雖もそも胎兒の不具あるは全く妊婦の疾病に關するものにして決して感情に關する者にあらす懷妊の初月に於ける疾病は最も胎兒の不具に影響を及ほす者なり

睡眠時間　妊婦の睡眠時間は通常より長くして少なくも八九時間安眠するを要す而して寢室は清凉にすへし臥床も亦温暖に過く可らす晩食は少量になすへく夜業等は執る可らす殊に病者の看護の如き注意と畏懼を要する業は決して執る可らす

妊婦の浴法　日々全身を洗淨し殊に陰部を洗淨すへし浴温は攝氏の三十四度（華氏九十三度）を可とす熱脚湯、冷脚湯、及海水浴等は假令平生之れに慣習する者と雖も禁すへし

房事　既に一回流產したるとある婦人は妊娠中良人と同寢す可らす

便通　日々便通あるを良しとす然るに妊婦は便秘の

癖あるを常とするを以て清鮮の水を飲み乳汁を用ひ林檎を食ひ日々開豁の地に遊歩する等勉て便通を促すへし便秘せは産婆に請ひ微温湯に蜜舎利別若しくは「カミルレ」浸を加へて灌腸すべし若し下剤を要し或は尿利に不順を生せば醫師の診察を受くべし

流産の豫防　既に流産を催さは之れを救ふは最も至難なるを以て宜しく豫め左の諸點に注意すへし即ち通常流産の原因は不慮の顛仆、過度の舞蹈、及歩行、劇場、及諸集會場に於ける長坐過劇の下剤過度の精神感動、體質薄弱、咳嗽劇發、流産の癖、用ひ慣れさる強き飲料及濃き茶の服用等あり流産の徴候は初め先つ胃部、腰部、背部に於て疼痛を發し漸く衰弱を加ふ而して下血するときは流産は既に其端を開けるなり從て下腹刺痛を發し子宮に壓重を覺ゆるときは胎兒は既に母體より全く分離し了れるなり而して若し胎兒速に娩出さる歟若しくは出血持續するときは直ちに醫師を迎ふへし妊婦若し流産の初徴を發せは靜に臥床に就き清涼なる飲料及冷却せる淡泊なるソップの他は用ゆ可らす既に一回流産せし者は例之輕易の腹痛を發し及ひ不快を覺ゆるも必す醫師を招き診せしむべし幸にして輕易に流産せる者は順産の如く處置すれは害を避さすと雖も概ね爲に種々の下腹病を將來する者にして現に婦人の下腹病を患ふる者多き一因たり

（以下次号）

衛生叢談

浴場行日誌　（前號の續き）

醫學博士　佐々木政吉君

三月三十日　朝曇る六時半床を出づ珈琲を飲み七時四十五分一頭馬車を傭ひビリンに向て發す（價四グルデン）（一グルデンは凡そ六十錢）「ショスセー」街

道を通過し左方に「チプリッツ」古城の山嶺に在るものを望み中山を迎へ右方に鑛山の連綿たるを見る鑛山は銀及錫を產すと天曇り四山雪を以て被はれ朔風脇を劈き塵埃目を襲ふ頗る不快なり凡そ一時半にしてビリンに着す時に天氣漸く晴れ日光の煕々たるを望む直ちにサウエルブルンチンに至る泉の山の半腹にありビリン鑛泉の源なり職工長の案內により先づ鑛泉の湧出する所を見る冷泉にして飲用を主とす其最も古くして有名なるものを「ヨセブ」泉と云ふ（世人の「ヨセブ」泉と稱し賞用するものは此泉より出るものにして歐州の人口に膾炙す）周圍石を以て疊み中央に水の湧出する井あり井上一小屋を設く之を試みるに澄明にして炭酸氣頗る饒多あり一掬直に之を感知すへし之より鑛泉を瓶に容るゝ所に至る職工長試みに瓶を振盪して後之を放て爆鳴せしめ以て其炭酸氣に富めるを証せり繼て瓶藏を見る數十万の瓶は層々累々として其數の夥多なるに感せり山下より鑛泉を容れたる瓶を上昇せしむる小鉄道を見之を下りて瓶を洗滌する所に至る數百本の瓶は蒸氣機械に由りて水を迸出せしめ立どころに淸淨となるを見る更降ること數步近年(三年前)の發見に係る「ヨハンフランツ」泉を見る水少しく澄明を欠くと雖も含む所の炭酸及び鉄に由り味美にして飲料に供すべし此泉の深さ地下百三十「メーテル」なりと出でゝ瓶に鑛泉を滿たし之に栓をなす所に至る皆器械を以てす聞く一日三千瓶を栓入すと而して之に要する所のもの二人の小女と一人の男とのみ其人力を省くの大なる知るへきなり階を登る少許「クールトハウス」に詣る建築偉大なりと云ふを得ざれども裝飾頗る準備せり場中には通常浴、蒸氣浴、全身浴、半身浴、坐浴、電氣浴等あり皆蒸氣機關を以てす其他食堂、書室、舞蹈室、眺望臺等あり臺に登り四望すれ

ばピリン市両畔にあり前方「ポルッエー」の岩山雲際に聳へ後方繞らすに山脈を以てし田野其間に榮え田舍の風光を呈し愛観するに勝へたり

「クールハウス」を出でゝ飲用鑛泉の諸器を運轉する蒸氣機を見る、後隣室に至り鑛泉を蒸發して殘留したる鹽類に交ふるに糖を以てし鑛泉菓を作る所を見る少許同菓を購入し更に苦味鑛泉の出づる所に至る之を試むるに味頗る苦し聞く「ピリン」鑛泉の海外に輸出する額年々三百万瓶に下らず皆此地の候爵

ロープコウキッ氏の有に係ると目下日々六十人を使役す女は一日六十「クロイッ」(一クロイッは凡そ我六錢位あり)より八十「クロイッ」にして男は「一グルデン」(一グルデンは凡そ六十錢)より「一グルデン」「三十クロイッ」ありと一箱に詰めたる百瓶の價十四「グルデン」より廿二「グルデン」に至ると重もに女子を用ふ余の見る所を以てするに「ピリン」鑛泉は「テプリッツ」鑛泉の如く人爲を以て炭酸を濕したるものより數等の優れる者ならん殊に味ひ佳良にして食卓の飲用に適す今其第一ある「ヨセブ」泉の主成分を記すへし(ヨセブ泉は一二八八「メートル」の深きより來る)

硫酸加僂謨、硫酸那篤僂謨、食鹽、炭酸那篤僂謨、炭酸石灰等にして抱合したる炭酸氣一万分中一五、〇九二を含み遊離存在する炭酸は一分中一七、二四七を有す

ピリンは飲療泉に屬す其效あるは消化器諸病、泌尿器諸病、呼吸器諸病其他一般の全身諸病なりとす

ピリンは人口五千を有す蓋し一小都會なり旅亭の結構美あるものあり

「ザウエウルブルチン」を見終り厚く職工長を犒ひ再ひ馬車を驅りて(ピリン)停車場に至る時に十一時三十分なり即ち晝餐し十二時廿八分(カルヽス)浴場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に向て發し午后三時四十七分(カル丶スパット)停車塲に着す

車中「カル丶スパット」旅亭の主人に遇ひ同人所持の「ホテル」に赴く事に決せり主人アルフレッド、ペルンハルドと稱す停車塲より凡二十分にして同家に着す。氏と共に外出す行く少許にして(ブッブ珈琲亭)「カフエー、ザロン、プップ」の前なる「コンツエルト(奏樂)を催す所に至り四顧す高岡あり「ヒルシベグスプルング」(鹿の飛び降る山と云ふ義と云ふ傳へ言ふ帝カル丶四世田獵を爲し此岡上より鹿の落ちたるを追蹤し偶然鑛泉の湧出するを發見せりと帝の遺跡ある小城(目下カル丶スパット市の共有に屬す)尚此岡上に存す(カル丶スパット)の名之に基くと歸途「ゲーテー」街を過ぎる詩人ゲーテー嘗て此地に遊べり依て名くと云ふ浴市の中央を流る丶河あり「テープル」河と稱す夏時は水に乏しと雖ども冬時は融雪の爲に水量大なり東北に流る丶河の兩岸家屋櫛比す橋上に立ち四顧すれば「エルッケビルゲ」鑛山浴地を圍み宛然釜中に在るの想あり之を以て烈風の虞なし之に加ふるに盤緑樹蒼々として繁茂し山巔山麓或は別業を設け或は觀望所を立て天工人工共に其美を爲し山間の景色に於て欠くる所なし余橋上に躊躇する良々久しく南北を顧望し東西を仰視し鹿山の岡上なる古城を觀ては天景の美と歷史上の感と交も相集り心中一種の興ありき橋を渡り劇塲の前に出づ河岸は總て栗樹を植ふ整然として羅列す數十歩にして此地の有名なる(スプルーデル、コロナーデ)(沸騰泉)に至る(コロナーデ)は旅客鑛泉を飲みつ丶奏樂を開き散歩する所にして巨大なる鉄柱の家屋なり塲内に入り(スプルーデル)を試飲す温度列氏五八、五度(攝氏七三、一華氏一五三、五)にして味ひは少許の食鹽苦味を覺ふ塲内又別に鑛泉を蒸發せしめ固形鹽類

を攝取する所あり「コロナーデ」の終る所數十の便所あり是れ療客の需用に充つるものにして亦此地の「コロナーデ」を出て更に他橋を渉る橋下を去る遠からず河中に岩石の間より熱泉の迸出するを見る書賈に至り浴場案內書を購ひ轉して「マルクト」泉に至る「列氏三九、一度攝氏四八、五度華氏一二〇、〇度」「ミユールブルン」（列氏四九、八攝氏六二、〇華氏一一四一、一〇）の前に於て一老婆の鑛泉を飲みつゝ散步するを見たり「エリサベートブリン」（列氏三二、七攝氏四〇、九華氏一〇五、六）を一見し「クールハウス」の前に出て軍人療養所を過り「カルヽスバット」市公園に遊ふ園廣からすと云へとも雨中散步場の設けあり樹木の配置其宜しきを得中央には「コンツエルト」を催す所ありペ氏曰く療客朝一二杯のミユールブルン」を飲み一時間此園に散步し後ち珈琲或は牛乳を飲み午后入浴して再び一杯を飲み晩涼に乘して此園に逍遙すと又曰く食物の禁忌となすものは酢、バタ、脂肪、麥酒、乾酪、ザラート等にして「コンニヤク」（ブランデー）は飲むを得へしと泉の尤も效驗あるは蜜尿病、痛風、慢性胃加答兒、膽石、膀胱結石等なりと之より「テレサー」泉の前に出て「パルクストラセー」を登り猶太教ジナゴーゲ禮拜堂を一覽す（猶太教堂に入る者は脫帽に及はす）堂內「ヘプレー」語の讃美歌を聽く之を出てゝ更に登ること少許一大巨廈の新築中に係るものを見る亦以て頻年此浴場の繁盛に赴くを察すへしペ氏曰く當地人口一萬二千にして三分の一は猶太教に屬し凡そ八九百人新教を信し余は舊教を奉す是より一とたひ旅亭に至りペ氏と別かれ更らに市街を散步しこの地の產物ある鑛泉石層を採りて之を琢磨して滑澤ならしめ飾石となし諸種に鏤むるの物を販賣する所に至り二個の襟止めを購ひ七時半旅亭に歸り倉皇筆を採りて

日記を認む「ホテル」と「コンケチンタール」（大陸と云ふ義）と稱す石造三層樓にして室内の裝飾頗る整ひ便にして且美なり

「カヽルスバット」は北緯五十度十三分廿三秒東徑（フエルロー）より三十度三十三分五秒に位す海面を拔くこと三百七十四「メーテル」十三あり「ベーメン」州の獨逸部に在り樅、松、柏、山毛欅を以て繁茂したる連山之を圍繞し佳望富膽なる一谿谷の間に在り氣候は中央獨逸と略々相同じく一歳の平均温攝氏七〇三九にして平均氣壓は七二八「ミリメーテル」あり

「セーブン」は（季節と云ふ義にして此浴場に訪客の來るに適する時なり）は通常五月一日に始まり十月一日に終る

「カルノスバット」の住民は獨逸人にしてベーメン人とは氷炭相容れず互に疾視睥睨し假令へば猿と犬とに於けるが如し故に往々飲酒館等に於て爭鬪することありといふ十一時寢に就く

三月卅一日　天氣清朗なり六時半床を出で七時「ミユールブルン」に至り同泉一杯を飲み散歩すること凡一時間にして「ホテル」に歸れり

目下季節に非るも尚三四百人の療客ありて皆鐘形の杯に附するに革紐を以てし肩より腰に下け鑛泉を飲みつゝ街衢に彷徨し公園に徘徊す且つ飲み且つ歩す亦一奇觀なり余も途次紀念の爲めに此杯一個を購へり（杯には分量を示すの目あり注意至れり）療客を望診するに脊髓勞又は黄膽に罹れるものあり或は肥滿して頸肉將に劈けんとするか如き者あり或は羸瘦骨立して歩に堪へさるものあり

「カルヽスバット」の沸騰泉の主成分は左の如し（千八百七十九年ウキンナ府大學教授ルドウキヒ氏の分拆に係るものにして精確なり（分拆表略す）右の表に由れは諸成分の順次は左の如し（ミニールブルンノ

主成分略)

第一　硫酸那篤僧謨

第二　炭酸那篤假謨

第三　食塩

以上三泉は「カル丶スバット」中の最も著明なるものなり其他「マルクト」泉「シロス」泉「ノイ」泉「テレサー」泉「エリサベート」泉「フェルゼン」泉「カンゼン」泉「ベルンハルド」泉等の主成分は大同小異なるを以て之を略す

「スプルーデル」泉と「ミユール」泉とは尤も有名なる鑛泉なり今「スプルーデル」塩即「カル丶ス」塩の成分を掲けん塩は「スプルーデル」泉を蒸發せしめ殘留したるものなり之れ二種あり一は結晶塩にして一は分末塩なりとす(分拆表略す)

正午「ホテル」の主人ベルンハルド氏と共に馬車を驅りてギースユープルに赴く此地飲泉の輸出を以て盛なりカル丶スバットを去る凡そ一時半を費すべし途次カル丶スバット市立中學の新營中に係るものを見たり其他カル丶スバット貧病院、屠畜場等皆路傍にあり「エーゲル」河を左にし漸くカル丶スバットを離る「エーゲル」河は鯉、山鯰魚、鮎等の漁利ありて河岸遠く連山の蜿蜒重盤するを望み近く岡陵の緑樹森々たるを見る天氣清穏にして風塵の累なく「エーゲル」河洋々として流れ烟霞靉靆として涯り無く時尚早春に屬すと雖も已に春光の融々たるが如き感ありべ氏對岸の森を指して曰く彼の森林中有名な巨大の槲あり直徑二「メーテル」十三人を以て始めて其全圍を抱擁するを得べし年紀詳かならずと雖も凡そ二千年の雨露に浴したるものならん彼の有名なる詩人テオドル、ケルチル氏此樹の爲に詩を作れりと夫れより馬車は森林の間を通過す羊腸崎嶇頗る險あり往年某伯其馬車と共に顛墜して數丈の高きより「エーゲル」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

河に蹴され重傷を蒙れりと但し目今石欄を設け此危險を避けしむ

（以下次號）

●大日本婦人衛生會例會

五月六日第一土曜日午後一時より麹町區富士見町五丁目十二番地富士見倶樂部に於て例會を開く出席員凡三拾餘名醫學士岡田和一郎君には外科的衛生小言と云へる演題にて外科に關する注意を促し現内務衛生局長後藤新平君には婦人体育の必要に就て演說せられ終つて午後六時散會せり

●千葉支會

大日本婦人衛生會千葉支會は豫期の如く去月三十日午後一時より千葉幼稚園に於て開會し出席會員三拾餘名にして同支會幹事高梨美津子には妊婦の注意及產婆の實驗上に就て次に特別會員なる某氏には幼稚園の必要及消化物的に就て第三席河野米一郎氏は妊婦及產後の心得に就て第四席飛田良吉君には實驗上病理等に就ての演說ありて午後五時散會せりといふ

●大日本私立衛生會役員撰擧

去月二十二日午前十時より京橋區宗十郎町なる集會室に於て行ひたるに左の諸氏當撰したりと

會頭　土方子爵　　副會頭　長與專齋

評議員

石黑忠悳　　永井久一郎

北里柴三郎　　後藤新平

緒方正規　　中濱東一郎

長谷川泰　　高木兼寛

大澤謙二　　武昌吉

●福岡縣の婦人會

同會は國會縣會兩議員夫人及高等女教員の企により土怡志摩両郡に創立し糸嶋婦人會と稱し婦人の德義及衛生に關する等を講究するにあれば將來本會と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

氣脈を通ずることゝ爲したきものなり云々と木村春榮子なる人より申越せり

◉狂犬病患者の模樣

長崎縣下に於て狂犬病流行し狂犬の爲に咬れ非命の死を遂ぐる者ありとは豫て聞き及びしが長崎病院長田代正氏は該狂犬病の爲に負傷したる人を診察せし結果ありとて此ほど同氏より大森同縣知事へ上申せし大意を聞くに患者は三ッ井物産會社の雇人林田貞吉にて先月十三日午後七時半頃一頭の狂犬が同會社の構内へ飛込みしかば門衛の田中清作といふが之を叱咜すと同時に同人の面部に咬み附しゆゑ傍に居合せたる貞吉は直に棒を取りて狂犬に向ひしが却て犬の爲に咬倒され右の耳朶を咬切られしかば直樣開業醫牟田口正道氏に療治を乞ひし處創は大凡五日間にして癒りたり斯くて兩人とも職務に就きしが清作は其月十八日より頭部へ疼痛を覺へ遂に二十二日の夜狂暴狀に變じ又貞吉は同夜清作を看護せしが間もなく右肩胛と右の半面に刺痛を覺へ廿三日に至り疼痛頻に劇しく固体は纔に攝取し得たるも飲液は藥汁さへ嚥下すること出來ざるのみならず液体を口邊に近くるを厭ひ夫より俄に精神狂ひ身体の痛む時には奇妙なる聲を出し數名の看病人力を盡して鎭むるも床を離れて戶外へ駈出さんとする由なるが其の狂犬の爲には從來幾人となく咬附かれて困難せし趣あり尙同市は昨今右同樣の狂犬徘徊し追々他の飼犬に病毒傳染する模樣なりと云ふ

◉吾人は日にバクテリアを飲むなり

善良なる飲料水には一立方仙迷中に百五十個(瑞西)乃至三百個(獨逸)のバクテリヤを含むに過ざるべしとは歐洲諸國の制にして本邦には未だ是等の制限あき事なるが米國シカゴ府のベース氏は一百五十個を限界とせる由にて同氏の檢査にてはシカゴの水は常

に二十箇以上を發生し時として八千箇を見ることありしと聞く我東京はシカゴと其人口略は相同じければ千箇以下の水は容易に得難きことを知るべし

●壽命と生活の關係

大都會は人家稠密空氣不潔にして健康に害あるは勿論遊惰淫逸不行状等各種の不攝生行はるゝこと村落より多し村落の生活は概ね自然に適ふ茲に百餘年來英吉利瑞典等の經驗に據るに村落に生活するものは四十人に一人中都會は三十二人に一人大都會は二十八人に一人の死亡割合に當れり吾邦に於ては未だ確かなる調査は成し得ざるも既往十二年間の經驗に據れば大都會即ち東京市街等は特に死亡數多く二十五人に一人歿亡の割合なるも其他概ね英、瑞等と同様の比例に同じと某統計家は語れり

●小供の接吻

兩親若くは他の人が愛らしき子供を抱きながら愛情の餘り其小供の口を接吻する事あり然かるに醫學的實驗に依れば之が爲め往々其口より肺病若くは梅毒を小供に傳染せしむる事ありと云へり實に恐るべき次第ならずや兩親たる者猥りに其愛兒を人手に渡す勿れ殊に下等社會の人に渡す勿れ夫に付ても乳母の撰擇は甚だ大切なりと知るべし

●耳病者はをてんばに多し

金杉英五郎氏は醫學會に於て耳病の原因と題する演説にて婦人の耳病の最も多きは英國にして次は獨逸次は伊太利次は日本也總してをてんばなる婦人には耳病多し日本の婦人も今少しおてんばとなるならば更に耳病患者をますに至らん云々述へられたり

●洋酒飮む人は注意せよ

今に始めぬ事ながら府下の酩酒屋中にアルコールに二三の藥品を混合して洋酒を摸造し甚だしきは中に色を附けたる有害なるものあり又た佛國より輸入す

る葡萄酒中にも有害なる藥品を混加せる安物あり尤も佛國には飲食物檢査條例あるを以て此の有害品は重に外國向きとして造るものなりと

●日本赤十字社看護婦生徒

日本赤十字社に於て第六回召募の看護婦生徒志願者中今回試驗合格者の內八名(內一名は愛媛支部撰出)を採用し本月十六日より入學せしめ又第三回生徒九名は今回全期の課程を卒業し同十六日より病院に於て實務に服せしむることなせり

●空氣中のバクテリヤ調査

中央氣象臺にては先年來空氣中に存在するバクテリヤを調査中なるが未だ全く調査濟に至らざるよしにて今尙は頻に調査中なりといふ因に記す最初着手の時は草創の際とて不完全を免れざりしが近頃に至りては大に完全し來れりといふ

●八十歲以上の日本人

日本人に於て長壽の者尠しとは言はれぬもの近ごろの取調べを見るに嶋根縣に於ては八十歲以上に及べる者總計七千三百廿五人あり內男二千七百十四人女四千二百二十八人は八十歲より九十歲迄の者男百二十六人女二百四十七人は九十一歲より百歲迄男二人女八人に百一歲以上の者なり又奈良縣にては其割合に尠なく八十歲以上に達したる者は總計二千二百三十九人にして內男七百人女千四百二人は八十歲より八十九歲迄男九人女三十八人は九十歲より百一歲の間に在る者なりと

●萬國醫學會の出席者

本年九月伊太利國羅馬府に開設する萬國醫學會へは目下獨逸に滯在中なる保利陸軍々醫が陸軍を代表し坪井次郎氏が大日本私立衛生會を代表し又藥物學研究の爲め留學中なる猪子吉人氏が文部省の委員として孰れも出席する筈なりと云

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●總身に三千七十五個の瘤

兵庫縣神東郡豊富村なる黒田平吉は當年六十二の高齢なるが此男は不思議にも幼少の時突然二個の瘤噴き出でたるが始めにて夫より三個四個と追々増殖し今は其數三千〇七十五個の多きに上り中にも左腹部及右腰部の瘤は甚だ大きく左れば此男の總身は顆々凹凸恰も蝦蟇を見るに異ならねど生來甚だ壯健にて小供等にも遺傳の模樣なしと云へり

●京都の虎疫

京都市上京區河原町二條上る町渡邊某の妻去る七日午前七時類似虎列刺症特發目下治療中なりと原因は蛸、筍など不消化物を過食せし爲め

●狂犬病馬に傳染す

長崎の狂犬病は底止する所を知らず初めは人を害し今は遂に馬を斃すに至れり長崎市西彼長與村丸田郷中山豊八の飼馬は同市通行の際狂犬に足を咬まれしが其後舉動荒らく〳〵しく動もすれば人を咬まんとする勢なれば小屋に入れて嚴しく外圍を爲し置きしに柱壁などに咬み付きて暴廻り居りしが間もなく斃死せしと云ふ

流行病一束

●コレラ病根撲殺方法

虎列刺の病根なるコンマバチユルスに就き獨逸の帝國衛生會にて各種の食物品内に於るコンマバチユルスの生存期を試驗せしに魚類にては三日乃至七日間生存し櫻、桃、胡瓜にても三日乃至七日間麵には二十四時間牛酪には四日乃至六日間麥酒にては三時間白葡萄酒内にては五分間赤葡萄酒にて十五分間苹菓酒内にては二十分間咖啡にては二時間又甘味あるものにては二十四時間牛乳内にありては九日間死せすと云ふ然ともコンマバチユルスは華氏百四十度の熱

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

湯にて煮れば十分時間にして盡く死するといふ

●府下の狂犬病

府下に於て狂犬病流行の兆ありと云ふより當局者は其實否を取調べられし處別に流行の兆と云ふべき程の事はなけれど昨今は病犬を發生する季節なる故各地に於て病犬を見るも狂犬病にはあらずといふ又内務省衛生局にては曩に長崎に流行したるより同病豫防器即ち猿轡の雛形を調製せしめたるが右は歐州に於て多く使用し居るものなりと云ふ

●地方の天然痘

一時猖獗を逞くせし地方の天然痘も追々夏季に向ひしと當局者の豫防盡力にて追々消滅の有樣となりたるが未だ流行しつゝある府縣より其筋へ最近の報告は大坂府下去月一日より七日までの新患者百九十九人死亡八十人初發より四千〇三十五人死亡千五百七十六人。富山縣下去月廿八日より本月四日まで新患者三十八人死亡二十人初發より四千八十六人死亡千二百九十六人、新潟縣下仝十六日より仝廿二日まで新患者七十一人死亡十六人初發より千四百七十三人死亡四百九十三人、靑森縣下仝二十八日屆出患者七人、

●府下の流行者

春來空氣乾燥の爲め府下に於てリヨウマチス病流行せしも三月に入りて漸やく消滅の姿となりたるが頃來實布的里亞頻りに流行し十歲内外の兒童之に罹るもの多く又昨今脚氣病に罹るもの半身痲痺を起す者多く殊に心臟病に變ずるものありと云ふ用心すへし

●愛媛兵庫二縣下のコレラ

愛媛縣下温泉郡生石村字高岡の竹内ぎんは去る十日輕症コレラに罹り直に死亡せし由原因は蟹の半熟を食したる爲なりと又兵庫縣赤穗郡若狹野村下土井村の井口直七も同日同病に罹り目下治療中なりとの事

廣告

◉婦人衛生會に於ける四月より五月に至る入退轉居左の如し

◉贊成員　現任内務衛生局長後藤新平君には本會を贊成せられ以後贊成員となられたり

入會者

◉地方會員安達芳子の紹介にすゝ

筑前國鞍手郡勝野炭坑　佐藤與三君夫人

◉贊成員日本赤十字社病院

日本赤十字社病院　加藤はま子

仝所　植山みつ子

芝公園内傳染病研究所　西田峯尾子

◉幹事北澤のふ子の紹介により

麹町區中六番町十二番地　通常會員草刈房子

◉會員壽々喜祝子の紹介により

日本赤十字社病院　松本梅子

◉評議員大澤さく子の紹介により

小石川大塚町六十二番地　通常　大谷みつ子

◉特別會員横内岩子の紹介により

杤木縣河内郡瑞穗村大字上區桑島二十八番地

當時大學第一醫員内科十二号室　鮎淵ふさ子

◉會員三浦をしへ子の紹介により

神田駿賀臺袋町九番地　石川い勢子

◉會員森安かた子の紹介により

牛込區南町十四番地　通常會員　兒島長規君夫人

◉會員大竹ひさ子の紹介により

第二醫院　村上れん子

◉會員和田福子の紹介により

京橋新富町二番地　通常會員　前田あか子

◉幹事加藤つね子の紹介により

京橋瀧山町十番地　通常會員　石川さだ子

◉幹事中野ゑつ子の紹介により

愛知縣名古屋市竪三ッ藏町八十番戸 通常會員 熊谷ゆき子
麹町永田町二丁目七番地 同 長鄕ちよ子

◉事務所へ申込により

神田區鎌倉町四番地 通常會員 植村八重子
芝區田町七丁目六番地 仝 今村家壽子

◉千葉支會へ入會者

千葉郡犢橋村カシワイ 川口いし子

轉居

相州厚木町へ 齋藤清兵衛君
麹町上二番町廿六番地へ 橋本わか子
麹町一番町二番地へ 長崎多惠子
麻布一本松町廿三番地へ歸京 關郁子
京橋區築地三丁目十五番地へ 高山樂子
秋田縣へ 松下てい子
本鄕湯嶋天神町三丁目十二番地へ 島田みね子
神田三崎町一丁目三番地へ 三間みわ子
京橋釆女町二十六番地へ 浦島てい子
麻布山本町卅二番地へ 伊集院とよ子
麻布笄町六十四番地へ 山田のぶ子
本所緑町三丁目廿八番地へ 三穗のぶ子
芝公園地五號地二へ 檜山たね子
麹町富士見町一丁目一番地へ 後藤ゆき子
麹町元園町二丁目四番地へ 岡村き代子

◉千葉支會々員轉居

麻布市兵衛町二、五番地ヘ平原氏方 黑田てつ子
牛込拂方町廿五番地へ 渡邊たつ子

退會者

松野兼子 高橋かよ子 松本なみ子 中山政子
安藤まち子 濱田楳子 曾山のぶ子 澁川たみ子
坪野さだ子 井丸きよ子 稲垣みつ子 下村まき子

大日本婦人衛生會

●白粉定量成蹟分拆表（承前）

左の分拆表は水野虎吉氏の調査したるものなりとて此頃得たれば茲に掲ぐ

名稱	水分％	鹽基性炭酸鉛％	澱粉及香料％
○製造人　本所横網一　金袋堂伊勢屋吉次郎			
東香御白粉	三、九〇六	一五、六三六	八〇、四五八
御うす化粧	一四、八五二	一六、六八三	六八、四六五
すがた見	二、三八四	二三、九九五	七四、六二一
ゆかり香	三、五五九	三一、〇〇四	六五、四三七
花かつら	七、八九八	四七、一五〇	四四、五九二
姿見香	三、二四八	四八、三三六	四八、四一六
美麗香	八、六三三	四九、〇九五	四二、二八三
花月香	三、四三四	七五、七九〇	二一、七七六
ばつちり	〇、〇二八	九八、八七六	澱粉ナシ　一、一〇六
御えり白粉	〇、〇八八	九九、五七四	澱粉ナシ　〇、三八八
○製造人　日本橋よし町　よし屋　爲右衛門			
吉しろし　うす櫻	五、二三二	五一、九四〇	四二、八二八
御うけしやう　清肌香	八、七九〇	五七、五六二	三三、六四八
うす櫻	五、四四六	六七、八七二	二六、六八二
○製造人　日本橋住吉町　松本廣屋			
岩戸香	九、一一四	一八、一四〇	七二、七四六
見さくら	八、七〇三	一九、六五〇	七一、六四七
月の梅	一一、九九〇	二五、五八七	六二、四二三
むつの花	三、一八四	二八、四三五	六八、二八一
御あつけしやう　ゆふがほ	九、〇七四	二九、八三七	六一、〇八九
しのゝめ御白粉	九、〇七二	三七、二七八	五三、六五〇
千代鶴御白粉	六、六〇五	四四、九二一	四八、四七四
水おしろい　月之梅	九二、二七八	三、二二九	三、七六九
外に　グリスリン％　〇、七二四			
○製造人　日本橋區通二丁目柳屋五郎三郎			
雪の梅	七、七〇四	四七、七三九	四四、五五七
丁子香	四、六四六	五六、五七六	三八、七七八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治廿一年二月二十八日内務省許可

雲の上御白粉	七、五〇三	五七、一三五	三五、三六二
源氏御白粉	四、八一六	六〇、二三〇	三四、九五四
若むらさき	五、三五五	六四、四一八	三〇、三二七
御ゑり白粉	〇、〇二九	九二、七三九 澱粉ナシ	七、二三二
花の友 御襟おしろい	〇、〇二四	九九、八一四 澱粉ナシ	〇、一六二
水おしろい 雲の上	九五、七二七九	四、一四一九	——
外に グリスリン%	〇、一三〇二		
濃艶布	九、〇九〇	一、一七四	——
外に 布	八七、七三六%	一袋の布量 重量 面積	六、八九六四 三八七、五〇CM

以上

之に依て是を觀れば總て白粉の種類たる或は粉狀をなすものあり或は水に混攪せるものあり或は一種の煉剤若しくは布片に塗着たるもの等其數甚た多しと雖も其れが材料たる僅かに數種を除く外皆鹽基性炭酸鉛に資らざるはなし故に之を皮膚に塗布するや前文既に述ぶるが如く鉛分の常に体内に吸收せられ瞑々の裡年月の久しき滞積して終に慢性中毒を起すに至るや亦知るべからさるあり而して殊に粗悪のおしろいにありては往々水に溶けべき鉛の抱合体を含み居りて害毒の甚た敷ものあり又特に之を亂用し或は艶美を增さんか爲め白粉を塗るに先たち薄く脂肪を塗布するが如きは愈其吸收力を強盛ならしむる者にあらざるか蓋し白粉を使用するの目的たる玉膚雪肌以て光澤を艶麗ならしむるの外なきものなれば豈に多量の鉛分を含有するが如き有害の白粉を用ふるの要あらんや使用者宜しく反省鑑弘して可なり記して參照に供す　〔完〕

明治廿六年六月一日印刷
明治廿六年六月二日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　私立大日本婦人衛生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中德三郎
印刷者　東京麴町區上二番町四十三番地　八木吉六
印刷所　東京神田區旅籠町二丁目十番地　廣業館

明治二十六年四月四日遞信省認可第一金曜日發行
（定價金十錢）